

1. 基本情報						
事務事業番号	02139	事務事業名	地域資源プロデュース事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	001	地域経済を支える商工業の振興			グループ	PR推進グループ
基本事業名	003	霧島ブランドの確立と販路の拡大			内線番号	2671
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	02	総務費		単年度繰返(開始年度 平成30年度 ~)	
	項	01	総務管理費		期間限定複数年度(~)	
	目	10	霧島ふるさと元気再生事業費		根拠法令・条例等 霧島市地域おこし協力隊設置要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	地域再生計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 本事業は、これまで販路に恵まれなかった商品や眠ったままの商材を含めた霧島の地域資源の発掘、デザイン、マッチング、販売、発信を、専門的な知識や経験を有した「地域おこし協力隊」を活用することにより行うもので、本市の地方創生を加速させ、霧島の「モノ創り」を元気にするものである。
 総務省が進める「地域おこし協力隊」は、都市部の若者等が過疎地域等に移住して、概ね1年以上3年以下の期間、地場産品の開発、農林水産業への従事等の地域協力活動を行いながら、地域に定住・定着を図る取組であり、本事業の推進に必要な役割を果たす人材として、協力隊が有している専門的能力を活用することは非常に有効な手段である。協力隊は、任期終了後における本市定住のための将来ビジョンを持ちながら活動を行い、地域課題の解決、未来志向のプロジェクト等に挑戦し、外からのあらゆる視点で本市の各種取組を活性化させるものである。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 霧島ガストロノミーブランド申請数	件	16	30	36	10
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 霧島ガストロノミーブランド認定を取得	認定された商品、活動の数	件	61	61	60	60
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市産品や技術を生かした商品開発を支援するため、商工会議所や商工会、特産品協会、JAあいら、第一工業大学等との産官学連携による「ガストロノミー推進協議会」の活動や農商工連携を推進するとともに、情報の共有や人材の育成、ブランド制度の設計やビジネスマッチング等に取り組むことにより、「霧島ブランド」の確立を目指します。
 また、国内外での商談会等への参加を積極的に推進するとともに、霧島ブランドの効果的なプロモーションやセールスの展開を図るため、官民一体となった販路開拓・販売促進のための支援制度の強化に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題
 令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 地域資源を活用した事業の実施に当たっては、地域おこし協力隊の専門的知識及び経験を活かした「地域おこし協力隊ならではの取組」を展開するとともに、任期最終年度を迎える隊員の定住、創業等に向けた業務を進めていく。
 また、これまでの地域おこし協力隊の貢献を鑑みると、任期最終年度を迎える隊員の後任についても、引き続き新たな隊員を採用することが本市の地域活性化につながるものと考えられることから、令和4年度採用に向けた募集等について、担当部署と協議を進める必要がある。

4. 事業費の推移		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	7,595	8,269	7,254	7,919
事業費		千円	7,595	8,269	7,254	7,919	8,016

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 霧島ガストロノミー推進協議会の事業に関して、新たな地域資源の掘り起こしや認定制度の普及啓発、認定品のPR、販路拡大等に取り組んだ。 また、庁内他課からの依頼を受け、各種事業のPR媒体のデザイン等の支援も行った。	(2) 令和 3年度の実績(取組)による成果を記載> PR動画の作成・公開やSNSによる情報発信等により、霧島ガストロノミー協議会の活動や「ゲンセン霧島」認定品を市内外に広くPRすることができた。 【活動実績】 霧島ガストロノミー推進協議会関係：13件 庁内各課関係：9件
---	--

事務事業 番号	02139	事務 事業名	地域資源プロデュース事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	生産者・事業者によっては、高齢化や採算性による後継者、担い手不足の課題が生じており、生産者・事業者にとってマーケティング、情報発信等を行う専門的な知識を有した人材に対するニーズが年々高まっている状況であることから、地域おこし協力隊を配置し、地域資源の発掘、情報発信等を積極的に行い地域ブランド力を高め、本市産品の稼ぐ力の向上を図る必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善 << >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充				
		維持			レ	
		縮小				
		休廃止（統合含む）				
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和4年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	地域おこし協力隊の専門的知識及び経験を活かした「地域おこし協力隊ならではの取組」を展開する。また、コロナ禍での特例措置として、令和3年度末時点で在任中の隊員については最大2年の任期延長が可能となったことから、適切な任期期間の検討と、任期満了後の定住、創業に向けた準備を進める。					
(3) 令和5年度の方向性（具体的な取組）	引き続き、地域おこし協力隊員の専門的知識及び経験を活かした取組を行い、地域資源を活用した事業を効果的に展開するとともに、隊員自身の地域への露出を高め、任期満了後の定住、創業等を意識した業務を進めていく必要がある。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充						
		維持						
		縮小						
		休廃止（統合含む）						
			皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入（予算）の方向性						
(2) 総評								

1. 基本情報						
事務事業番号	02141	事務事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	001	地域経済を支える商工業の振興			グループ	PR推進グループ
基本事業名	003	霧島ブランドの確立と販路の拡大			内線番号	2673
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成10年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【市の活動】
 特産品協会に補助金を支出するための手続き(申請書等の受付から補助金の交付など)を行い、特産品の開発、宣伝の推進を図る。

【特産品協会の活動】
 地域の特産品の開発及び販売経路の拡充。市内事業者75団体が加入。地場産業の一翼を担うため、会員間の相互理解と連携を強め、「霧島市」にふさわしい特産品のPR、県内外への販路開拓、また、観光と協同した特産品産業の振興を通じて、地域経済の活性化を促進するため、関係各所との連携を図り、各事業に取り組んでいる。

物産展出店推進(市内外イベント等出展事業)
 広報拡大(PR広報渉外事業、会員拡大の推進)
 霧島市特産品のブランド認定の仕組みづくり(「霧島市ガストロノミー推進協議会」への参加)
 その他(各実行委員会への参加)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 鹿児島県特産品協会主催特産品コンクール入賞数	点	16	20	16	20
イ 霧島ガストロノミーブランド申請数	点	16	30	36	20
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 特産品協会会員	会員数	人	75	90	68	80
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 新たな特産品を開発する	開発された特産品の数	個	76	86	82	89
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

本市産品や技術を生かした商品開発を支援するため、商工会議所や商工会、特産品協会、JAあいら、第一工業大学等との産官学連携による「ガストロノミー推進協議会」の活動や農商工連携を推進するとともに、情報の共有や人材の育成、ブランド制度の設計やビジネスマッチング等に取り組むことにより、「霧島ブランド」の確立を目指します。

また、国内外での商談会等への参加を積極的に推進するとともに、霧島ブランドの効果的なプロモーションやセールスの展開を図るため、官民一体となった販路開拓・販売促進のための支援制度の強化に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

新型コロナウイルスの感染拡大により、県内外で多くのイベント等が中止となり、例年行ってきた出展等の機会が激減しているが、こうした状況下でも持続可能なPRの手続きを検討し、本市の特産品や霧島ブランドの認知度向上及び定着に取り組む必要がある。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算
国庫支出金	千円	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	951	1,169	1,168	1,168
事業費	千円	951	1,169	1,168	1,168

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
市内外イベントへの出展 食を中心とした事業を産官学連携して取り組む「霧島ガストロノミー推進協議会」への参加 霧島市ふるさと納税の支援 市内イベント等実行委員会への参加	霧島ガストロノミー推進協議会事務局 会議等：委員会1回 霧島市ふるさと納税の支援 会員からの新商品情報等の情報提供を行なった。 ECサイトへの出展支援 (公社)鹿児島県特産品協会の運営するECサイト「かごいろ」へ会員4事業所が出展 販売チャンネル新規開拓支援事業 会員14件の事業採択。

事務事業 番号	02141	事務 事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本事業を継続して実施し、地域の特産品開発、販売経路の拡充及び関係機関との連携強化を図ることで、「霧島ブランド」の確立につながり、同時に地域経済に寄与するものである。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向 性 (成 果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	未だ新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている中で、イベント出展等による対面的なPRのみではなく、SNSやECサイトといったオンラインによるPRを効果的に行う必要がある。 令和3年度に行った「販売チャンネル新規開拓支援事業」の実績から事業者がコロナ禍において求めている事業を把握し、対外PRのみではなく、事業者支援にも目を向け、事業を行う必要がある。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	ワクチン接種等も進み、様々な制限が解除の方向に向かっていくことを見据え、コロナ禍で行ってきたPRや事業者支援を継続しつつ出展助成等のコロナ後の需要に応える事業を行っていく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向 性 (成 果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02142	事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	PR推進グループ
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致			内線番号	2672
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
<p>【本市の活動】霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付するための手続きを行う。また、本市が同協議会の事務局を担っている。</p> <p>【霧島市PRスタッフ運営協議会の活動】本市をPRし観光客を誘致することを目的に選定する霧島ふるさと大使の選考会の開催や活動を支援する団体である。本市・霧島商工会議所・霧島市商工会・霧島市観光協会で組織される。</p> <p>【霧島ふるさと大使募集の概要】霧島ふるさと大使 3名募集 任務 11月から約1年間、本市をPRするための観光宣伝や物産展、本市が主催・後援・協賛する行事等に参加 応募資格 本市に居住または通勤・通学の18歳以上(高校生を除く)でやる気のある方。老若男女・未婚既婚を問わない。 月平均3、4日程度の業務・出張に従事できる方。 自薦・他薦を問わない。</p>						

活動指標 (事務事業の活動量)		単位	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)	令和4年度 (見込)	令和5年度 (見込)
ア	出務回数	回	32	35	33	40
イ	PRスタッフ選考会応募者数	人	10	15	9	15
ウ						

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)	令和4年度 (見込)	令和5年度 (見込)
ア	国民	霧島市の人口	人	124,882	123,908	123,066
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度 (実績)	令和3年度 (目標)	令和4年度 (目標)	令和5年度 (目標)
ア	各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができる。	出務人数(延べ)	人	38	45	33
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
<p>日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。</p> <p>また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。</p>						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 大使の活動をより広く周知し、さらに関心を持ってもらうために、各種イベントやメディア出演、SNSを活用した情報発信を積極的に行う。全国的に新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなり、イベント等の開催に伴う出務が発生した際にすぐ対応できるよう、本市に関する知識や大使を務めるための意識向上等の研修を行う。		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,230	1,520	1,270	1,420
	事業費	千円	1,230	1,520	1,270	1,420	1,349

5. 令和3年度の実績及び成果	
(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
各種イベント等を通して本市を広くPRするとともに、SNS(フェイスブック、インスタグラム)を利用した情報発信も行った。 【市内各種イベントや県外の観光キャンペーン】33回参加(述べ48.5日出務) 【フェイスブック】29回投稿 【インスタグラム】93回投稿 【第14代霧島ふるさと大使選考会】9名参加	新型コロナウイルスの感染拡大に伴うイベントの中止等により、市内外での各種イベントへの出務回数は33回であったが、フェイスブックやインスタグラム等を活用した情報発信も並行して行うことで、本市の多種多様な魅力を広く周知でき、認知度向上に繋がった。

事務事業 番号	02142	事務 事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	大使が県内外において、各種イベントやメディア出演、SNS等でPR活動を行うことは、本市の魅力を広く周知することにつながるため継続した取組が必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、例年より変更となった選考等に係るスケジュールについて、大使の任期等へ影響が及ばないよう、今後見直しを図る必要がある。 また、新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなり、イベント等の開催に伴う出務が発生した際にすぐ対応できるよう、本市に関する知識や大使を務めるための意識向上等の研修を行うほか、メディア出演やSNSを活用した情報発信を積極的に行い、本市のPRを継続して行う必要がある。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	選考等に係るスケジュールを変更し、より応募者を増やすとともに大使の認知度が上がるような周知宣伝を図っていく。 また、メディア出演やSNSを活用した情報発信に際し、本市の魅力伝える効果的なPRが行えるよう、知識や意識を向上する研修や視察等の機会を継続して提供していく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02143	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	005	きょうどう（市民とつくる協働と連携のまちづくり）		担当課	観光PR課	
施策名	004	市の魅力と価値を高める多角的施策の展開		グループ	PR推進グループ	
基本事業名	004	シティプロモーションの推進		内線番号	2672	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返（開始年度 平成20年度 ~）	
	項	01	商工費		期間限定複数年度（ ~ ）	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>								
(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）								
<p>本事業は平成20年度から開始し、市勢全般について理解を深め、それぞれの立場から市政に対する提言や意見をいただくとともに、本市の観光の魅力や特産品等の紹介、宣伝、本市のイメージアップに繋がる活動及び企業誘致や定住促進等、市勢発展に寄与していただいている。なお、委嘱は各関係課からの推薦に基づき行い、その後の事務的な業務は、推薦があった関係課と観光PR課が連携して行っている。</p> <p>【おじゃんせ霧島大使委嘱者13名】 辛島美登里・井上一樹・白翔翔・堤剛・陸奥一博・猫ひろし・生島ヒロシ・西田聖志郎・重田千穂子・下野竜也・二木康太・川上直子・大瀬良大地・濱田尚里</p> <p>【霧島市ふるさと大使4名】 細山田明義（首都圏霧島市ふるさと会最高顧問）、原口悟郎（首都圏霧島市ふるさと会会長）、末満利昭（首都圏霧島市ふるさと会会長代行）、梶島義則（首都圏霧島市ふるさと会副会長）</p> <p>【霧島市PR大使1名】 宮村憲一（元トヨタ車体研究所代表取締役社長）</p> <p><観光宣伝>それぞれの活動の場で本市をPRしてもらう。</p>								
活動指標（事務事業の活動量）		単位	令和2年度（実績）	令和3年度（見込）	令和4年度（見込）	令和5年度（見込）		
ア	委嘱回数	人	0	1	1	1		
イ								
ウ								
(2) 事務事業の目的								
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 （左記対象の大きさを表す指標）	単位	令和2年度（実績）	令和3年度（見込）	令和4年度（見込）	令和5年度（見込）	
ア	霧島大使	委嘱者数	人	18	19	19	20	21
イ								
ウ								
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 （左記意図の達成度を表す指標）	単位	令和2年度（実績）	令和3年度（目標）	令和4年度（目標）	令和5年度（目標）	
ア	霧島市の情報を知ってもらう	広報誌を送った回数	回	216	228	220	240	252
イ	霧島市のPRをしてもらう	名刺を送った総枚数	枚	1,800	1,900	1,900	2,000	2,100
ウ								
(3) 総合計画との関係								
基本事業の目的、取組方針（総合計画より）								
<p>まちの持続的な発展や交流・移住人口の増加につなげるため、「褒め合うまち」をコンセプトとするクリスマス活動をもっと推進し、市民のまちへの愛着度を高め、市民と行政がともに本市の魅力づくりを行うとともに、学校や企業・事業所等においてクリスマスを活用する場を広げるにより、クリスマス活動の更なる定着化を目指します。</p> <p>また、本市の認知度向上を図るため、SNS等を活用した情報発信を市民とともに進めます。</p>								

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和3年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）		単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画	
<p>「おじゃんせ霧島大使」「霧島市ふるさと大使」「霧島市PR大使」は任期を設定しており、委嘱時と比較して大使本人の状況等が変わっている可能性があり、また、事業上名譽職としてこれまで具体的な活動状況も把握していないことから、各大使を通してより効果的な市のPRが行われるように、制度のあり方や運用について検討する。</p>		事業費	0	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	40	59	54	59	39
		事業費	千円	40	59	54	59	39

5. 令和3年度の実績及び成果	
(1) 令和3年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
<p>本年度は、東京オリンピック柔道女子78kg級金メダリストの濱田尚里さん（自衛隊体育学校所属）におじゃんせ霧島大使を委嘱した。また、本市の情報提供として毎月市広報誌等を送付するとともに、霧島大使として活動する際の名刺を作成、提供した。</p>	<p>19名の霧島大使がそれぞれの分野で本市のPRを行い、知名度向上や観光客増加に寄与していただいた。</p>

事務事業 番号	02143	事務 事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 霧島大使が観光情報や生活情報を対外的に発信することは本市の更なる知名度向上に繋がるため、今後も継続して取り組む必要があると考える。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	霧島大使は任期を設定しておらず、これまで具体的な活動状況も把握していないため、制度のあり方や運用について再度検討し、より良い運営方法に見直す必要がある。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	制度のあり方や運用についてより良い運営方法を協議する。 また、大使への情報提供を継続的に行うほか、庁内及び各種団体等と連携し、新たな大使の委嘱について検討するなど、本市の更なる知名度向上を図っていく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02144	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		担当課長	寶徳 太	
基本事業名	002	競技スポーツの推進		グループ	観光振興グループ	
				内線番号	2612	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成 8年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 霧島市補助金交付規則等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会に補助金を交付し、同実行委員会が行うスポーツ団体誘致活動を支援している。また、市は同実行委員会の事務局も担っている。
 (市の活動) 同実行委員会に補助金を支出するための手続きを行う。
 (実行委員会の活動) 団体誘致のためのセールス活動(年間)、歓迎セレモニーの実施(年間)、誘致団体との連絡調整(年間)。
 霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会とは、H8年よりJリーグをはじめとする各種スポーツ団体の合宿等を霧島市に誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した団体である。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 誘致活動回数	回	4	15	5	15
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア スポーツ団体	現在誘致活動を行っている団体数	団体	3	15	5	15
イ 旅行エージェント	PRを行ったエージェント数	社	1	5	0	5
ウ 各種大会	現在誘致活動を行っている大会数	大会	1	3	0	3

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 霧島市でキャンプを行ってもら	キャンプを行った団体(全体)	団体	7	15	9	15
イ 情報提供をしてもら	キャンプを行った団体(新規)	団体	1	5	1	5
ウ 霧島市で大会を実施してもら	実施した大会(全体)	大会	0	3	0	3

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 スポーツ合宿の更なる活性化のため、施設が飽和状態にあるサッカー野球場、ソフトボール以外の場内(ラケット、ハンドボールなど)の誘致に積極的に取り組む。また、オリンピック、パラリンピック等国際大会の事前合宿等の誘致活動も行う。
 施設への受入については、引き続き関係課との連携を図りながら行う。
 また、更なるスポーツ観光の誘致並びに振興に寄与するため、令和3年度から観光PR課において事務を所管する。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算
国庫支出金	千円	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	1,900	8,000	654	1,900
事業費	千円	1,900	8,000	654	1,900

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 霧島市でキャンプを継続している団体に対し、誘致活動を行った。また、プロ・実業団のキャンプイン時に歓迎セレモニーを実施した。	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 【継続団体】 大分トリニータ、モンテディオ山形、藤枝MYFC、Hondaソフボール部、太陽誘電女子ソフトボール部ほか(計8団体) 【新規団体】 豊田自動織機シャトルズ愛知
--	---

事務事業 番号	02144	事務 事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	スポーツキャンプはスポーツ観戦及び教室を通して、市民へのスポーツ普及、競技力の向上、交流人口の拡大等に寄与しており、サッカー、野球、ソフトボール以外の競技についても幅広く誘致することによって向上余地はある。事業を廃止するとスポーツ団体の誘致や交流人口の拡大等に影響があり、さらに誘致活動を展開するためには事業費の削減は困難である。一部の団体等に限定した事業ではなく、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
	維持			レ	
(2) 令和4年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	縮小				
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(3) 令和5年度の方向性(具体的な取組)	スポーツ合宿の更なる活性化のため、施設が飽和状態にあるサッカー、野球、ソフトボール以外の協議(ラグビー、ハンドボールなど)の誘致に積極的に取り組む。また、オリンピック・パラリンピック等国際大会の事前合宿等の誘致活動も行う。 施設への受入については、引き続き関係課との連携を図りながら行う。 また、更なるスポーツ観光の誘客並びに振興に寄与するため、令和3年度から観光PR課において事務を所管する。				
	スポーツ合宿の更なる活性化のため、施設が飽和状態にあるサッカー、野球、ソフトボール以外の競技(ラグビー、ハンドボールなど)誘致に積極的に取り組む。 施設への受入については、引き続き関係課との連携を図りながら行う。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
	維持		
(2) 総評	縮小		
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	

1. 基本情報						
事務事業番号	02145	事務事業名	観光バス運行事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		グループ	PR推進グループ	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進		内線番号	2672	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

以下の観光バスを運行し、観光客の二次アクセスの確保を行う。

- ・霧島連山周遊バス 平成17年度より運行。登山者の交通アクセス充実のため、丸尾を拠点にえびの高原及び高千穂河原を結ぶ。
- ・妙見路線バス 平成22年度より運行。妙見を経由して隼人駅から鹿児島空港を結ぶ。
- ・霧島周遊観光バス 平成30年1月から実証運行を開始。土日祝日に主要交通拠点から市内の観光地を滞在しながら運行する。乗客アンケート等を基に運行内容の検証・改善を行い、本格運行につなげるべく取り組んでいる。

【委託先】鹿児島交通(株)

【運賃】

- ・霧島連山周遊バス 丸尾 えびの高原(430円) 高千穂河原(750円) 丸尾(1,030円)
- ・妙見路線バス 隼人駅 鹿児島神宮(140円) 妙見温泉(350円) 嘉例川駅(530円) 鹿児島空港(660円)
- ・霧島周遊観光バス 1,100円(のっとりおりたりマイプラン)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 霧島連山周遊バスの延べ運行便数	便	1,424	1,460	1,460	1,460
イ 妙見路線バスの延べ運行便数	便	4,015	3,650	3,650	3,650
ウ 霧島周遊観光バスの延べ運行便数	便	204	234	234	116

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 観光客	観光客数	人	5,178,046	7,954,000	4,493,337	8,033,500
イ 観光客	観光客数	人	5,178,046	7,954,000	4,493,337	8,033,500
ウ 観光客	観光客数	人	5,178,046	7,954,000	4,493,337	8,033,500

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 2次交通アクセスを確保する	霧島連山周遊バスの利用者数	人	2,379	4,500	2,890	4,600
イ 2次交通アクセスを確保する	妙見路線バスの利用者数	人	3,630	7,300	4,834	7,400
ウ 2次交通アクセスを確保する	霧島周遊観光バスの利用者数	人	496	1,404	537	702

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるように、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。

さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

全ての観光バスにおいて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえた周知のあり方や、観光客の利便性向上を検討する必要がある。霧島周遊観光バスについては、これまでの実証運行内容を振り返り、今後のバス運行や観光客の利便性向上につながるような二次アクセスの充実方法について検討する必要がある。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度		4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	10,728	10,800	9,500	5,900	0
一般財源	千円	24,879	22,849	26,389	25,247	29,758
事業費	千円	35,607	33,649	35,889	31,147	29,758

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
霧島連山周遊バスは、昨年度と同じダイヤで運行を行った。妙見路線バスは、利用実績等を踏まえ1便減便した。霧島周遊観光バスは、平成30年1月から開始した1年間の実証運行での乗車状況や乗客からの意見等を基に、平成31年1月から運行内容を観光客のニーズに合う充実したものに変更。昨年度も変更後の内容で実証運行を継続している。バスを使った周遊観光を促進する時刻表等のパンフレットについては、内容を一部変更し、日本語版及び外国語版を作成している。	全ての観光バスにおいて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けているものの、昨年度よりは利用者が増加している。霧島連山周遊バス利用者 前年度比約121% 妙見路線バス利用者 前年度比約133% 霧島周遊観光バス利用者 前年度比約108%、1日当たり5.2人(1便当たり利用者数 海コース2.4人、山コース2.8人)

事務事業 番号	02145	事務 事業名	観光バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 二次アクセスは本市の観光面における課題の一つであり、観光客の利便性の確保の観点から、これまで同様利用者アンケート等を通じて利用者のニーズにあった運行を行う必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			
		縮 小	レ		
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	霧島周遊観光バスについては、観光客等の二次アクセスの充実を図ることを目的とした実証事業として平成29年度に導入したが、このうち、海コースについてはこれまでの利用状況等を踏まえ令和4年度から廃止する。また、海コースの廃止に伴い、山コースに鹿児島神宮を追加する。 妙見路線バスについては、九州新幹線開業時に導入された観光特急「はやとの風」との接続を想定した運行ダイヤとなっていたが、令和4年3月で同列車が運行廃止となったことから、その後の利用状況等を踏まえたダイヤ改正を検討する。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	霧島連山周遊バス、妙見路線バスについては、引き続き周知を行い利用者の増加を図る。 霧島周遊観光バスについては引き続き周知を行うとともに、アンケート結果や利用状況を踏まえながら利用者の利便性の向上を図る。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充	
		維 持	
		縮 小	
		休廃止（統合含む）	
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報							
事務事業番号	02146	事務事業名	霧島の食ブランド価値向上事業		担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課	
施策名	001	地域経済を支える商工業の振興			グループ	PR推進グループ	
基本事業名	003	霧島ブランドの確立と販路の拡大			内線番号	2672	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度	平成29年度	~)
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	地域再生計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【市の活動】
霧島ガストロノミー推進協議会に補助金を支出するための手続き(申請書等の受付から補助金の交付など)を行うとともに、協議会の事務局を担っている。

【事業概要】
健康的食生活と食を通じた喜びを分かち合うための知識、体験、芸術、クラフトを統合したガストロノミーの理念のもと、「霧島には魅力的な食文化がある」という認識を国内外から得るため、産学官各種団体が連携した事業を展開し、農林水産物の付加価値向上に伴う「稼ぐ力」の向上や海外を含めた誘客拡大・満足度向上に繋げ、交流人口拡大や経済活動の活性化を図ることを目的とし、霧島ブランド認定制度の運営や知名度の向上、販路拡大に向けた取組を行なっている。

【構成団体】商工会議所、商工会、観光協会、特産品協会、あいら農協、第一工科大学、国分中央高校、霧島高校、霧島市

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 霧島ガストロノミーブランド申請数	件	16	30	36	10
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	124,882	123,908	123,006	123,639
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 霧島ガストロノミーブランド認定を取得	認定された商品、活動の数	件	61	61	60	60
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
本市産品や技術を生かした商品開発を支援するため、商工会議所や商工会、特産品協会、JAあいら、第一工業大学等との産学官連携による「ガストロノミー推進協議会」の活動や農商工連携を推進するとともに、情報の共有や人材の育成、ブランド制度の設計やビジネスマッチング等に取り組むことにより、「霧島ブランド」の確立を目指します。
また、国内外での商談会等への参加を積極的に推進するとともに、霧島ブランドの効果的なプロモーションやセールスの展開を図るため、官民一体となった販路開拓・販売促進のための支援制度の強化に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
「ブランド認定制度」については、ほとんどの認定品が更新時期を迎えていることから、今後の認定制度のあり方や仕組みについて検討し、生産者等が参画しやすい制度の構築を図る必要がある。
市及び株式会社霧島の観光・物産に関するパートナーシップ協定に基づき、「ゲンセン霧島」認定品をはじめとする、特色ある地域産品のブランディングの促進、販路拡大等を図る。

4. 事業費の推移

単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画		
事業費	国庫支出金	千円	4,675	0	0	2,900	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	2,062	0	0	0
	一般財源	千円	5,435	2,773	3,931	5,365	4,197
	事業費	千円	10,110	4,835	3,931	8,265	4,197

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

- ・霧島ガストロノミーブランド「ゲンセン霧島」の募集・認定
- ・霧島食材を包んだご当地料理「霧島つつみ」の展開
- ・霧島市及び(株)無垢との「霧島市の観光・物産に関するパートナーシップ協定」に基づく連携事業
- ・市内外の飲食店等に対する食材マッチングの実施
- ・主催イベントの開催(霧島ガストロノミーコレクション、「ゲンセン霧島」フェア)
- ・「ゲンセン霧島」認知度向上のための各種PR活動の実施

(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

霧島ガストロノミー推進協議会の成果
・ブランド認定制度により、新たに34件(うち27件は再認定)の認定品
・活動が「ゲンセン霧島」に認定され、パンフレット制作、PRイベント実施などを通して、更なる霧島の「食」ブランド価値向上を図った。
・「霧島市の観光・物産に関するパートナーシップ協定」に基づく連携事業として、(株)無垢におけるオンラインストアの開設等を行い、「ゲンセン霧島」認定品をはじめとする特色ある地域産品の販路拡大を図った。
・「ゲンセン霧島茶」をきっかけとした霧島茶のブランディング推進、市内外における販路拡大を図った。
・本市産品における都市圏に向けて新たな販路拡大を期待できる取組として、産直空輸実証事業、新幹線産直輸送事業を試験的に実施した。
・市内外への物産展、イベントへの出展及び霧島ガストロノミーコレクションを開催し、市内外における「ゲンセン霧島」の認知度向上を図った。

事務事業 番号	02146	事務 事業名	霧島の食ブランド価値向上事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	霧島ガストロノミー推進協議会が取り組んできた「霧島ガストロノミーブランド「ゲンセン霧島」認定制度」を中心とした各種事業を継続して実施することで、地域経済の活性化などにつながり、本事業の更なる成果向上を図ることができる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> 「ブランド認定制度」については、5年目を迎え、安定した認定数で推移していることから、引き続き生産者等が参画しやすい制度運営を図るとともに、販売促進、販路拡大など成果に直結する展開を進める必要がある。 また、認定制度に「農林水産物部門」を新設することについて農林水産部と協議を進める。 「航空機を活用した産直空輸実証事業」、市及び株式会社無垢との観光・物産に関するパートナーシップ協定に基づく各種連携事業等を展開し、本市の魅力ある「食」にまつわる地域資源のブランディングの推進を図る。 				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> 本協議会の基幹事業としてブランド認定制度を維持するとともに、「農林水産物部門」の新設を図る。 				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報							
事務事業番号	02147	事務事業名	シティプロモーション推進事業	担当部	商工観光部		
政策名	005	きょうどう（市民とつくる協働と連携のまちづくり）		担当課	観光PR課		
施策名	004	市の魅力と価値を高める多角的施策の展開		グループ	PR推進グループ		
基本事業名	004	シティプロモーションの推進		内線番号	2672		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	07	商工費		単年度繰返（開始年度		平成28年度
	項	01	商工費		期間限定複数年度（		~
	目	04	観光費		~		）
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 民間団体、地域などと連携した魅力づくり・PR活動を展開し、まちづくりへの参画人口増加を図るとともに、官民一体となった魅力度・認知度向上への取組を推進するため、以下を実施する。
 ・褒め合うまちをテーマにしたプロモーション活動「キリシマイスター」
 キリシマイスター（霧島市のファン）を増やし、魅力づくり・魅力発信に参画する人を増やす。
 ・シティセールス
 全国版メディアとのネットワークの構築や情報発信スキルの向上等により認知度アップを図る。
 ・市民がまちづくりやPRのノウハウを学ぶ機会をつくり、本市の活性化につなげる。

活動指標（事務事業の活動量）	単位	令和2年度（実績）	令和3年度（見込）	令和4年度（見込）	令和5年度（見込）
ア キリシマイスター啓発活動	回	4	10	5	0
イ メディアキャラバンによる訪問数	件	5	5	0	0
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象（誰、何を対象にしているのか）	対象指標（左記対象の大きさを表す指標）	単位	令和2年度（実績）	令和3年度（見込）	令和4年度（見込）	令和5年度（見込）
ア 市民	霧島市民	人	124,882	123,908	124,813	0
イ メディア	掲載数	件	304	200	82	0
ウ						

意図（対象をどうしたいのか）	成果指標（左記意図の達成度を表す指標）	単位	令和2年度（実績）	令和3年度（目標）	令和4年度（目標）	令和5年度（目標）
ア まちの魅力を知ってもらおう	/活動に参加した人数	人	11,000	12,000	11,000	0
イ まちの魅力を知ってもらおう	広告換算金額	千円	206,000	200,000	48,138	0
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針（総合計画より）
 まちの持続的な発展や交流・移住人口の増加につなげるため、「褒め合うまち」をコンセプトとするキリシマイスター活動を更に推進し、市民のまちへの愛着度を高め、市民と行政がともに本市の魅力づくりを行うとともに、学校や企業・事業所等においてキリシマイスターを活用する場を広げることにより、キリシマイスター活動の更なる定着化を目指します。
 また、本市の認知度向上を図るため、SNS等を活用した情報発信を市民とともに進めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）

- 郷土愛の醸成
「キリシマイスター」活動を更に活発化するため、イベントや出前講座、イイなの日の実施等により引き続き普及活動を推進する。また、キリシマイスターモデル校やキリシマイスターパートナーズに参加した各種団体が、自発的に地域の人材として活躍できる機会提供と参画した内容を工夫し実施する。
- 認知度向上
本市の魅力の効果的に発信できる媒体等への掲載ができるようメディアキャラバン、取材対応等により積極的な取組を展開する。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度		4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	5,052	5,100	4,900	0	0
一般財源	千円	46	57	154	0	0
事業費	千円	5,098	5,157	4,746	0	0

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>

- 11月7日の「イイなの日」の実施
 学校での取組：市内小・中学校全校で実施
 協力店舗による取組：37店舗参加
 高校生・大学生による取組：イイなの日実行委員13名、イベント参加者約10,000名（イイなの日）
- キリシマイスターモデル校認定（継続）：小学校4校、中学校2校
- キリシマイスターパートナーズ認定：5社
- 出前講座等の普及活動：5回（父の日、海の日、合同金婚式、出前講座2回）
- 取材対応：5件 掲載実績：82件（うち温泉郷に関するもの24件）
 広告換算値：48,138千円（うち温泉郷に関するもの14,312千円）
- SNS（インスタグラム）での「#キリシマイスター」の投稿数960件、「#キリシマイチャンネル」の投稿数853件
- 市のPRに関する庁内横断的な取組を行う情報共有会議「シティセールスミーティング」を1回実施。

(2) 令和3年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>

- 幅広い市民層を対象とした「イイなの日」の取組において、市内店舗でのイベントや団体との合同企画等を実施し、多くの市民の参画を得た。
- 出前講座等の普及活動の実施により、キリシマイスターへの市民等の関心を高めるとともに理解を深めることが出来た。
- キリシマイスターモデル校の認定校において、各学校の特長を生かした取組が展開された。
- SNS等の「キリシマイスター」に関する投稿により、本市の認知度向上が図られた。
- 取材対応によりメディア等へ本市の魅力を発信した。また、Webメディアでの掲載を獲得し、本市の認知度向上につなげた。
- PRに関する庁内横断的な取組を行うシティセールスミーティングを実施し、各部署におけるPR素材の情報共有及び一元化を行った。また、都市部でのシティセールスを実施し、本市の魅力を幅広く発信した。

事務事業 番号	02147	事務 事業名	シティプロモーション推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		C
		理由 本事業については、令和3年度をもって廃止となる。ただし、シティプロモーションの推進については、総合計画に則って継続した展開を図る必要があることから、新たな形での実施を検討する。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充				
		維 持				
		縮 小				
	休廃止（統合含む）	レ				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
コスト投入（予算）の方向性						
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	シティプロモーションの推進に関しては観光総務管理事務事業に統合し、以下の3本柱で取り組んでいく。 ・クリスマススターの取組...市民向けの郷土愛の醸成を図るため、地域、学校、職場、団体等に積極的に働きかけ、クリスマススターを普及する事業を展開する。 ・イイなの日の取組...市制施行日である11月7日を「イイなの日」とし、市民とともに本市の魅力創造発信をできるような機会を創出する。 ・外部向け広報...新型コロナウイルスの感染状況も踏まえながら、地域の経済活動の活性化や交流人口拡大に繋がるよう、行政内、各種団体、事業所等と連携して実施する。					
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	シティプロモーションの推進に関しては、事業内容、事業効果等を精査しながら、引き続き以下の3本柱で取り組んでいく。 ・クリスマススターの取組 ・イイなの日の取組 ・外部向け広報					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
		維 持	
		縮 小	
	休廃止（統合含む）	レ	
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02149	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	PR推進グループ
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致			内線番号	2673
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~) 期間限定複数年度(~)
	款	07 商工費				
	項	01 商工費				
	目	04 観光費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
国内外からの多くの観光客を誘致するため、旅行情報誌・新聞等様々なメディアを利用して霧島市の観光情報等を掲載することで、積極的な情報発信を行っている。						
活動指標 (事務事業の活動量)						
	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	
ア 掲載回数	回	6	5	7	0	0
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 広告を掲載した旅行雑誌、新聞等の読者	掲載媒体販売部数	万部	117	150	188	0
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 霧島市の情報を得る。	広告を見た人の数(掲載媒体発行部数)	万部	117	150	188	0
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。						
また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画	
新型コロナウイルス感染拡大の影響が小さくなり、旅行や外出を楽しむ時期になった際に本市を選んでもらえるよう、時機を見く旅行情報誌・新聞等様々なメディアを利用して霧島市の観光情報等を掲載する。		事業費	0	0	0	0	0	
		財源内訳	0	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	798	660	660	0	0		
事業費	千円	798	660	660	0	0		

5. 令和 3年度の実績及び成果	
(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の実績(取組)による成果を記載>
【広告掲載実績】(カッコ内は発行日、発行部数) ・九州よんげん通信共通広告 T Jかごしま(令和 3年 9月19日、36,200部) シティ情報おおいた(令和 3年 9月25日、36,000部) タウンみやざき、ながさきプレス(令和 3年 9月27日、各30,000部) ・読売新聞九州 - 秋の九州観光特集広告(令和 3年10月25日、740,000部) ・南日本新聞フェリア(令和 3年11月 6日、270,000部) ・読売新聞九州 - 春の九州観光特集広告(令和 4年 3月23日、740,000部)	特産品プレゼントキャンペーンと特産品広告を同時に掲載するなど、相乗効果を意識した工夫を行った。掲載エリアについては昨年度同様コロナ禍における新たな生活様式を意識し鹿児島県内や九州内に広く発信している媒体を中心に掲載した。

事務事業 番号	02149	事務 事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		C
		理由 広告を掲載した旅行雑誌・新聞等を通して本市の良さを知ることができ、また本市への訪問のきっかけにも繋がると考えられるので、今後も継続して取り組む必要があると考える。なお、本事業については、その目的、内容から観光宣伝事業に統合する

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	本市の魅力ある素材や事業等をより広くPRするため、媒体・時季・掲載内容等をよく検討し、掲載後の成果へ繋がるよう効果的に行う。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	情勢の変化に合わせて需要も変化していくため、掲載エリア・ターゲット等のような細部まで検討し、効果的なPRを図る。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02150	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		グループ	PR推進グループ	
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致		内線番号	2673	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 新幹線、JR在来線及び飛行機を利用し鹿児島県を訪れた観光客に対して本市への誘致を図るため、観光PR広告看板を設置。
 ・昭和50年代に隼人駅前及び隼人駅構内、日当山駅前に観光案内看板を設置(1枚)(隼人駅前及び隼人駅構内については老朽化に伴い撤去済)
 ・平成16年に九州新幹線が開通したことに伴い、鹿児島中央駅に電照看板を設置(1枚)
 ・平成26年度に隼人町小浜地区の国道10号沿いに温泉案内看板を設置(1枚)
 ・平成27年度に地方創生事業により、鹿児島空港国際線出発口に電照看板(1枚)及び外国語表記を記載した観光案内板を設置(43箇所)
 電照看板とは・・・カラーフィルムに裏から照明をあてて広告するもの

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 設置枚数	枚	49	51	47	51
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	5,178,046	7,954,000	4,491,954	4,941,149
イ						
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (実績)	令和 5年度 (目標)
ア 霧島市を知ることができる	看板を見た人(鹿児島中央駅鹿児島本線1日あたりの乗車人員)	人	14,013	21,000	0	21,000
イ 霧島市を知ることができる	看板を見た人(鹿児島空港国際線:乗降客数)	人	387	634,000	0	720,000
ウ						

(3) 総合計画との関係
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。
 また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度においても鹿児島中央駅及び鹿児島空港の利用客が大幅に減少しており、今もなおそうした状況が続いている中でどのように広告効果を高めていくか検討する必要がある。

4. 事業費の推移		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	1,397
		一般財源	千円	185	4,656	3,381	3,395
事業費		千円	185	4,656	3,381	4,792	4,792

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【広告料等実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島中央駅コンコース電照広告料(関平鉱泉水) 1,375,000円 令和3年度において、広告の内容変更を行わなかったことから、デザイン・データ制作費である22,000円の減額を行った。 日当山駅建植看板広告料(市内観光マップ) 68,200円 鹿児島空港国際線看板広告料(本市観光PR) 0円 受注者である「MBC開発株式会社」より、新型コロナウイルス感染拡大に伴い鹿児島空港国際線ターミナルビルが閉館中であり、従来の広告効果が得られなかったことから、令和3年4月1日から令和4年3月31日分掲出料の全額について減額変更の申し出があった。 鹿児島空港国内線看板広告料(特産品) 1,937,760円 受注者である「鹿児島空港ビルディング株式会社」より、新型コロナウイルスの影響により旅客が激減し、広告価値が減少したことから、令和3年4月1日から令和3年6月30日分の掲出料について10%減額変更の申し出があった。 	<p>鹿児島島の陸の玄関口である鹿児島中央駅、空の玄関口である鹿児島空港それぞれに広告を設置し、本市の魅力ある情報を掲載することで本市の認知度向上や誘客促進が図れた。</p>

事務事業 番号	02150	事務 事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本事業については、国内外に向けた本市の認知度向上及び本市への誘客促進を図るための有効な手段の一つであることから、掲出箇所ごとの効果検証を行いつつ、引き続き、本市の魅力ある観光素材を活用したPR広告掲出を行っていく必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	令和3年度においても、新型コロナウイルスの感染拡大により観光客は減少傾向であったが、ワクチン接種も進み規制緩和の動きも見られるため、本市における誘客対策事業関連PR広告掲出やよりPR効果の望める掲出枠の獲得などの検討を行い、更なる誘客促進を図っていく必要がある。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	市の認知度向上、誘客等に繋がるように、適宜掲載内容、掲載場所等を検討する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02151	事務事業名	観光宣伝事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	寶徳 太	
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致		グループ	観光振興グループ	
予算科目目	会計 款 項 目	一般会計 07 商工費 01 商工費 04 観光費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 期間限定複数年度(平成17年度	~) ~)
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
本市へ観光客を誘致することを目的に、各種観光宣伝を実施する。 【主な活動内容】 効果的なイベント等への参加、マスコミ等表敬訪問の実施 本市観光の魅力を伝えるための観光パンフレットやポスターの製作、発送 【主な活動場所】 首都圏、関西圏、東海地方、中国地方、北部九州地区 【令和3年度宣伝実施実績】 博多大丸イベント(福岡)、JR九州イベント(福岡)、旅行会社への修学旅行セールス(福岡、県内)						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (見込)	令和5年度 (見込)
ア 実施回数	回	12	32	10	32	32
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の 大きさを表す指標)	単位	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (見込)	令和5年度 (見込)
ア 国民	日本の人口	千人	125,708	124,836	123,066	124,310	123,370
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の 達成度を表す指標)	単位	令和2年度 (実績)	令和3年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和5年度 (目標)
ア 各種イベント・観光宣伝で霧島市を知ることが出来る。	宣伝日数(延べ)	日	13	78	18	78	78
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。 また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 市場動向や観光客のニーズ等を的確に捉え、発地やターゲット層、時期等に合わせた宣伝活動を行うことでより効果的な宣伝が実施出来ること。また、メディア等を活用することで、本市の情報をより広く周知することが出来る。 引き続き、県及び県内自治体、関係団体等と連携した宣伝活動を展開する。	

4. 事業費の推移		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,919	2,648	2,210	2,684
	事業費	千円	2,919	2,648	2,210	2,684	4,786

5. 令和3年度の実績及び成果	
(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 観光宣伝イベント参加数: 2回 旅行商品商談会等参加数: 0回 修学旅行関連セールス数: 8回 メディア出演: 0回 地元イベント参加数: 0回 観光パンフレット発送数: 254件 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大により多くのイベントが中止となったが、県内の学校の修学旅行を中心に旅行会社へのセールスを実施し、令和元年を基準とすると令和3年は6倍を超える修学旅行生が本市を訪れた。

事務事業 番号	02151	事務 事業名	観光宣伝事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本市への観光誘客を行うためには、市の魅力ある情報を広く周知する必要があり、本事業を継続して取り組まなければならない。実施場所や時期、ターゲット等を考慮し、効率的、効果的な事業を行う必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	市場動向や観光客のニーズ等を的確に捉え、発地やターゲット層、時期等に合わせた宣伝活動を行うことでより効果的な宣伝が実施できる。また、メディア等を活用することで、本市の情報をより広く周知することができる。 引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、県及び県内自治体、関係団体等と連携した宣伝活動を展開する。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	本市の魅力ある観光資源を広く周知できるよう、各種メディアやウェブ等を活用した効果的な情報発信を行うとともに、観光客のニーズに応じた情報提供や資料配布等を行い、本市への観光誘客に努める。 霧島市観光総合戦略の基本目標である「国内外の観光客の誘致」に基づき、本市への来訪を促すよう積極的な観光宣伝を展開する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02152	事務事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	観光振興グループ
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致			内線番号	2611
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成21年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 (公社)霧島市観光協会の事業及び運営補助として補助金を交付している。
 市の活動...同協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行う。
 同協会の活動...観光案内、霧島市の情報発信、観光商品の開発、チラシの作成・配布、観光イベントの実施
 (公社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会が合併し平成21年4月に発足し、平成25年4月1日から公益社団法人に移行
 誘致促進事業...観光イベントの開催・出展等、雑誌メディアへの情報提供、ホームページ等による情報発信、コンベンション誘致事業、自転車天国霧島、諸団体との連携及び提携事業
 受入整備事業...観光案内所(3箇所)の運営、観光マップ作成事業、インバウンド対策事業

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	事業所	229	240	224	240
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 市観光協会の活動運営を支援することで観光誘客のための事業を推進する。	観光宣伝をした回数	回	1	5	2	5
イ 市観光協会の活動運営を支援することで観光誘客のための事業を推進する。	イベントを実施した回数	回	3	5	2	5
ウ						

(3) 総合計画との関係
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)
 日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。
 また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題
 令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 国内外のニーズや生活様式に沿ってこれまでの事業を見直し、改善を行いながら、新たな需要での事業を実施していく必要がある。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮しながら、誘客と地域経済の回復に向けて、より綿密に市や地元団体等との連携を密にしていかなければならない。

4. 事業費の推移		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	9,417	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	33,363	31,421	22,004	30,782
		事業費	千円	33,363	31,421	31,421	30,782

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
1. 観光客の誘致促進事業 ・龍馬八ネムーンウォーク&ランin霧島：R4.3.1~R5.2.28 (R4継続事業) ・天孫降臨霧島祭 (YouTube配信) ・雑誌メディアを活用した情報発信：地域情報誌 6回 (モニターンきりしま) ・HP等による情報発信：総アクセス数 254,894件、1日当たり平均訪問者数 698名 (前年比102%) ・レンタサイクルの実施 ：観光案内所・・・貸出実績128台 (前年比141%) ：西郷どん村・・・貸出実績 33台 (前年比 43%) 2. 観光客の受入整備事業 ・観光案内所の運営...市内3箇所 ・体験型プログラム運営 (キリシマクエストII)	市と情報提供・意見交換を密にして一体となって、コロナ禍における新事業や誘客活動に取り組み、ホームページやフェイスブック等を活用し国内外の幅広い世代に向けて本市の情報発信をこまめに行い、イメージアップに繋がった。市内観光関係団体等の事務局を多数請け負い、多方面との連携や調整を行い、円滑な事業実施を行った。(新型コロナウイルス感染拡大により既存イベント等の中止あり)

事務事業 番号	02152	事務 事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 観光を基幹産業とする本市において、専門的に観光事業を実施し地域経済振興に寄与できている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	国内外のニーズや生活様式に沿ってこれまでの事業を見直し、改善を行いながら、新たな視点での事業を実施していく必要がある。さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮しながら、誘客と地域経済の回復に向けて、より綿密に市や地元団体等との連携を密にしていける必要がある。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、ホテル・旅館等をはじめとする観光関係団体の状況や意見を収集し、連携を取りながら、効果的な事業実施を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02153	事務事業名	観光客誘客事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	寶徳 太	
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致		グループ	観光振興グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 04 観光費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成22年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 本事業は、霧島市内の観光関係組織で構成され、本市への誘客促進と地域経済の発展を目的に活動を展開している「いざ霧島キャンペーン実行委員会」への事業補助金を支出している。
 同実行委員会は、事務局を市観光協会と市観光課で担い、平成22年度の口蹄疫からの復興を目的に設立され、これまで新燃岳噴火に伴う風評被害対策やPRキャラクター事業、関係団体への支援事業などを大きな事業に掲げ実施してきた。
 また、本市を来訪する観光客の満足度を高め、再訪に繋げるために、官民一体となった観光業従事者の「おもてなし」意識の向上にも繋げる事業を実施している。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	事業所	229	240	224	240
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 経済的に豊かにする	観光客数(宿泊+日帰り)	人	5,178,046	7,954,000	4,491,954	8,033,500
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。
 また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 新型コロナウイルス感染拡大の状況等を注視しながら、官民一体の組織として構成する団体からの意見を聴取し、新たな取組や既存事業のアップデート、また本市ならではの素材を活用した更なる発信が必要である。

4. 事業費の推移		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	116,808	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	148,879	98,116	96,613	6,500
	事業費	千円	148,879	98,116	20,195	6,500	6,435

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 【新型コロナウイルス対策事業】 ・スクールトリップin霧島!(R2年度繰越)...R2年9月以降の本市宿泊修学旅行への助成として、346校34,734人に対し助成した。 ・カムバックtoいざ霧島!(R2年度繰越)...キャッシュバックチケットを送付した5,100人のうち、2,671人が本市を再訪・宿泊した。 ・フォロー&霧ツイートキャンペーン...10月~2月の間にアカウントをフォロー&リツイートした方の中から抽選で毎月200名に本市特産品を送付した。 【県地域振興推進事業】 「特急はやとの風」を活用し、肥薩線・日豊本線・吉都線を一周したツアーを1回実施した。 【通年事業】 PRキャラクター事業(ノベルティ製作等)、温泉活用事業(スタンブラー「ゆ旅」)、活性化団体支援事業(2団体+2高校)、誘客助成事業(3団体)、情報発信事業(都内電車内広告等)、指宿市との広域連携事業	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 新型コロナウイルス対策誘客事業として、県内でも早い段階で宿泊キャンペーンや修学旅行への助成事業を実施し、本市への誘客に繋がった。また、市内で自主的に活動する地域活性化団体や高校への支援や、誘客が見込まれる事業への助成を行い、官民一体となった誘客に対する意欲の向上に繋がった。
--	---

事務事業 番号	02153	事務 事業名	観光客誘客事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	官民観光関係団体が一体となり、効果的な事業実施が行われている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < < 継続・やり方改善 > >			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	新型コロナウイルス感染拡大の状況等を注視しながら、官民一体の組織として構成する団体からの意見を聴取し、新たな取組や既存事業のブラッシュアップ、また本市ならではの素材を活用した更なる発信が必要である。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	新型コロナウイルス感染拡大の状況等を注視しながら関係団体の意見や状況により、観光客の誘致と地元経済の回復に繋がる事業を実施していく必要がある。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02155	事務事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	観光振興グループ
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			内線番号	2612
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 森林セラピーとは、森林の持つリラックス効果を五感を通して感じることで心身を癒し、健康維持・増進を図る取り組みである。霧島市は平成19年(2007年)3月に鹿児島県で初めての『森林セラピー基地』に認定された。認定基地及び認定ロードではその地域独自のセラピーメニューを考案して観光振興や地域振興に活用することができる。
 森林セラピー基地: 専門家による生理・心理・物理実験等を通してその高いリラックス効果が実証された森林を擁するとともに、良質な関連施設があると認められた地域のこと。『リラックス効果が科学的に実証されている』という点で、単なる『森林浴』とは異なる。
 <関連計画> 観光基本計画
 【森林セラピーロード】 柳ヶ平散策路、手洗散策路、丸尾自然探勝路、霧島神水峡遊歩道

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 体験イベントの回数	回	1	1	2	1
イ セラピーロード数	本	4	4	4	4
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 観光客(イベント参加者)	イベント参加者数	人	52	50	30	50
イ 指導者(森林セラピーガイド)	セラピーガイド会員数	人	10	16	10	16
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 癒される	イベント満足度	%	100	100	100	100
イ ガイドを養成する	養成回数	回	2	5	1	5
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。
 また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 霧島市が森林セラピー基地に認定され10年以上経過するが、今なお森林セラピーが市民に浸透しているとは言えない。そのため、森林セラピーとその効果の周知をさらに図る。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算
国庫支出金	千円	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	563	381	265	368
事業費	千円	563	381	265	368

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
森林セラピーイベント「癒しの休日」の開催(11月) 霧島市森林セラピー推進協議会(事務局:観光PR課内)の主催でイベントを1回実施した。通常の森林セラピーだけでなく、霧島ならではの魅力を盛り込むことで、参加者からの満足度も高いイベントとなった。 テレビ番組「旅サラダ」撮影協力(9月) 9/18放送の「朝だ!生です旅サラダ」口ケが丸尾自然探勝路にて行われ、女優がセラピーガイドとともに森林セラピーを体験する様子が放映された。 研修「医師と歩く森林セラピーロード」の開催(3月) 国際自然・森林医学会日本支部より医師を派遣いただき、霧島森林セラピー推進協議会会員+ガイドが参加する研修を行った。森林セラピーがもたらす医学的効果等やイベントの進行方法、アクティビティなど幅広く学ぶことができ、知識と意識の向上に繋がった。	11月のセラピーイベントでは、イベント参加者の100%の方がよかったと回答した。テレビ番組放映では、放送後にセラピーガイドクラブへのガイド依頼や問い合わせが急増するなど反響が大きく、森林セラピーについて周知が図られた。また研修においては協議会員及びガイドの意識向上に繋がり、今後の発展が期待できるものとなった。

事務事業 番号	02155	事務 事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	森林セラピーの癒し効果等の周知が図られれば、観光に活用できる資源が開発されることにつながるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	霧島市が森林セラピー基地に認定され10年以上経過するが、今なお森林セラピーが市民に浸透しているとは言えない。そのため、森林セラピーとその効果の周知をさらに図る。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	セラピーロードの定期的な整備を行い状態の維持に努めるとともに、コロナ禍の情勢を踏まえながらイベントの企画をしていく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02156	事務事業名	初午祭開催支援事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			担当課長	寶徳 太
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			グループ	観光振興グループ
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 04 観光費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 多年にわたり、鹿児島神宮周辺住民の生活の中で受け継がれてきた「記録作成等の措置を構すべき無形の民俗文化財」に選択された「薩摩の馬踊りの習俗」を後世に保存・継承するとともに、初午祭の円滑な事業推進を図る。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 初午祭に訪れた人数	万人	0	10	0	10
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	5,178,046	7,954,000	4,491,954	8,033,500
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 初午祭を訪れることにより、霧島市の魅力を再認識できる。	初午祭に訪れた人数	万人	0	10	0	10
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)
 本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 初午祭の開催においては馬主・蹄り連が出場して祭りが成り立つものであり、農耕馬が周りにいなくなった現代では、出場頭数の減少が喫緊の問題である。初午祭の保存・継承に関する事業内において、(仮称)翁か馬踊り保存会の設立に向けた協議を進めるとともに、関係者と意見交換会を開催しながら今後の安定的な開催について協議を進めていく。なお、初午祭を開催する上で、新型コロナウイルス感染症の対策について、今後検討していく必要がある。		単位	2年度 決算	3年度 当初予算 決算	4年度 当初予算	5年度 計画	
投入量	事業費	千円	0	0	0	0	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	700	2,453	1,000	2,453	
	事業費	千円	700	2,453	1,000	2,453	

5. 令和 3年度の実績及び成果	
(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
令和 4年 2月 20日開催の初午祭に向けて、実行委員会をはじめ、各関係団体等と協議を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、神事及び規模を縮小して開催した。本宮祭及び保食(うけもち)神社祭の神事を行った後、御神馬(ごしんめ)を先頭に6団体が奉納した。 令和 3年 9月 16日(木) 第1回実行委員会 令和 4年 2月 20日(日) 初午祭	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、見物を控えるよう事前に広報・PR等を行ったため、例年に比べて観客は非常に少なかった。

事務事業 番号	02156	事務 事業名	初午祭開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	B	本市の代表的な祭りであるとともに、文化財の保存の観点からも開催を支援していくことが必要である。しかし、初午祭の開催においては馬主・踊り連が出演して祭りが成り立つものであり、農耕馬が周りにいなくなった現代では、出場頭数の減少が喫緊の問題である。各関係者と意見交換会を開催しながら今後の安定的な初午祭の開催について協議を進めていく必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	初午祭の開催においては馬主・踊り連が出演して祭りが成り立つものであり、農耕馬が周りにいなくなった現代では、出場頭数の減少が喫緊の問題である。初午祭の保存・継承については、令和 3年 8月に「十八日の馬保存会」を設立し、後世に未永く伝承していく体制を整えることができた。今後についても、各関係者と意見交換会を開催しながら、安定的な初午祭の開催について協議を進めていく。なお、初午祭の開催にあたっては、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら開催する。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	実行委員会、交通警備打合せ会、奉納抽選会等を開催し、初午祭の開催へとつなげていく。その中で上記意見交換会で出た課題等を協議し進めていく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02158	事務事業名	安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			担当課長	寶徳 太
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			グループ	観光振興グループ
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 04 観光費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則	
				関連計画	霧島市観光戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

妙見・安楽地域の活性化と連帯感を深めることを目的として設立された団体で、地域住民を会員として運営されている。妙見温泉振興会・安楽温泉振興会に対し、国道223号沿線に花を植栽するための補助金を交付している。

(市の活動)
妙見温泉振興会・安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理・交付決定・補助金交付・補助金精算)を行う。

(団体の活動)
日本最古の温泉由来がある安楽温泉の景勝と街並みを守り、地域振興の発展のため、旧牧園町の町木であるモミジを継続的に植栽し、安楽温泉の名所づくりに努め、市内外からの集客を図り、霧島市の観光事業行政に寄与することを目的としている。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 補助した団体数	団体	2	2	2	2
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 妙見・安楽地区の団体	補助した団体数	団体	2	2	2	2
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 景観向上のための整備をする。	植栽等もみじ管理活動回数	回	4	5	3	5
イ 景観向上のための整備をする。	管理施設数(和気湯、えのき公園)	箇所	2	2	2	2
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

当地区を訪れる観光客に対して美しい景観を提供し、かつ観光客の満足度向上に繋がる事業へ展開する。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度		4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	615	584	584	584	584
事業費	千円	615	584	584	584	584

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(補助した団体数)
2 団体
(補助金額)
・妙見温泉振興会 330,000円
・安楽温泉振興会 254,000円

(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

和気公園までのモミジ街道づくり(枯れた植栽の補填含む)に加え、和気神社・犬飼滝周辺の看板及び街灯管理、九州オルレコースの下刈り整備等、えのき公園の清掃、和気湯の清掃・修理等のほか、台風による倒木伐採等も行った。

妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくり(花の植栽)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号沿いにもみじを植栽したり、草刈等の整備を実施することで、景観を向上させ、観光客へ「観光地霧島」というイメージを持ってもらうことに努めた。

事務事業 番号	02158	事務 事業名	安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	（妙見温泉振興会）和気湯の維持・駐車場借料、えのき公園温泉借料、通りの街灯の維持費に補助金を充てている。今後益々、施設の維持費にも費用がかかるところを最低限の予算で行っている。（安楽温泉振興会）主にモミジの植栽に補助金を充てている。近年は、新規の植栽数は減少しているが、モミジの補植等を年4～5回行っている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和4年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	当地区を訪れる観光客に対して美しい景観を提供し、かつ観光客の満足度向上に繋がる事業へ展開する。				
(3) 令和5年度の方向性（具体的な取組）	引き続き、和気公園・犬飼滝周辺温泉地として、公園までのモミジ街道づくりや「湯治とモミジの里づくり」を視野に継続して事業を展開する。その他、各地の清掃・メンテナンス・修繕等を行い、観光客誘致に繋がる街並み整備を実施する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
			コスト投入（予算）の方向性				
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02159	事務事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	観光振興グループ
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			内線番号	2611
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条約等 霧島市補助金交付規則	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市観光総合戦略

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 日当山温泉旅館組合とは、日当山地区への観光客誘致を目的として設立した団体。日当山地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。
 (市の活動)
 日当山地区を訪れた観光客の受入のため、日当山温泉旅館協会が行っている観光誘致宣伝活動などの事業に対し入湯税の還元として補助金を支給している。
 補助金申請受付 補助金確定通知 補助金請求 補助金交付 事業実績報告(補助金精算)
 補助金交付実績
 H30年度 265,000円
 H31年度 289,000円
 R2年度 300,000円

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1
イ 会員数	件	9	9	9	9
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	5,178,046	7,954,000	4,491,954	8,033,500
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 日当山地区を知ってもらう。	誘致のための宣伝活動回数	件	1	6	9	6
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。
 また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 日当山地区内での各種イベントにて、観光客誘致と地域活性化を図る。安定した会費徴収を確保し、安定した組合の運営を図る。新型コロナウイルス感染症に起因する観光客数減少の回復を目的とした活動に取り組む。

4. 事業費の推移

事業費投入量	財源内訳	単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	300	200	200	82	82
事業費	千円	300	200	200	82	82	

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 浴育活動 温泉施設での体験学習 MBCラジオ番組「日当山でまってるよー!」の制作・放送 WEB,パンフレットでの情報発信	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 「浴育学習」を日当山小学校三年生に対し年間10時間分の授業を行い、日当山旅館組合の3つの施設の体験学習や日当山温泉郷の特性等を子どもたちに伝えることができた。また、日当山温泉郷への誘客とイメージアップを図るため、2ヶ月間限定でMBCラジオ番組を制作・放送し、地域活性化に繋げることができた。
---	---

事務事業 番号	02159	事務 事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	日当山温泉旅館組合は、来訪者をもてなす受け皿として、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるため、継続して事業を実施する必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 ()	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	日当山地区内での各種イベントにて、観光客誘致と地域活性化を図る。 安定した会費徴収を促し、安定した組合の運営を図る。 新型コロナウイルス感染症に起因する観光客数減少の回復を目的とした活動に取り組む。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各種旅館協会等との連携を強化し、市一体とした運営を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 ()	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
			コスト投入（予算）の方向性				
(2) 総評							

1. 基本情報							
事務事業番号	02160	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業		担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	観光振興グループ	
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			内線番号	2611	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度	平成17年度	~)
	項	01	商工費		期間限定複数年度()
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 霧島市補助金交付規則		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 妙見・安楽温泉郷の中にある妙見温泉振興会、安楽温泉振興会の運営・宣伝事業に対し入湯税の還元として補助金を交付している。(市の活動) 妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。補助金申請受付 補助金確定通知 補助金請求 補助金交付
 (各団体の活動) 妙見・安楽地区を訪れた観光客の受入のための事業を行う。(モミジ植栽、サイン整備、街路灯の管理)
 * 妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。妙見・安楽地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。
 (補助金額)

妙見温泉振興会	H31年度	R2年度	R3年度
運営補助金	74,000	68,000	68,000
宣伝事業補助金	35,000	32,000	32,000

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	2	2		2	0
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	5,178,046	7,954,000	4,491,954	8,033,500	0
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 安楽地区を知ってもらおう	誘客のための宣伝活動回数	件	1	6	1	6	0
イ 妙見地区を知ってもらおう	誘客のための宣伝活動回数(3回; 日本温泉協会、日本温泉地域学会、HP)	件	2	7	3	7	0
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 近年、両団体の会員数は減少傾向にあり、とくに安楽温泉振興会はH31年度末まで4施設となっている。今後も会員数が増える見込みはないため、会員各施設が安定した運営を行えるよう一体となって取り組む。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	財源内訳	単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	142	108	108	91	
事業費	千円	142	108	108	91		

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の実績(取組)による成果を記載>
<p>【妙見温泉振興会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「日本温泉地域学会」県地域相談理事としての広報活動 日本温泉地域学会での情報発信 WEBでの常設的な情報発信 いざ霧島キャンペーン実行委員会参画 九州オルレ霧島妙見コースの普及活動(終了告知業務) <p>【安楽温泉振興会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安楽温泉チラシ配布 街路灯や看板等の整備・清掃 	<p>「日本温泉地域学会」の研究発表会等に参加し、霧島市はもとより鹿児島県の広報宣伝活動を実施した。団体の規模は小さいが、会員同士の連携を図り一つ一つのイベントに取り組んだ。</p>

事務事業 番号	02160	事務 事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 妙見・安楽温泉振興会は、来訪者をもてなす受け皿として、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるため、継続して事業を実施する必要があります。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	近年、両団体の会員数は減少傾向にあり、とくに安楽温泉振興会はH31年度末日で4施設となっている。今後も会員数が増える見込みはないため、会員各施設が安定した運営を行えるよう一体となって取り組む。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、市一体となった取組を展開する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
		維 持	
		縮 小	
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02161	事務事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課長	寶徳 太
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	観光振興グループ
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			内線番号	2611
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 霧島市補助金交付規則等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	特になし

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島温泉旅館協会とは、牧園・丸尾地区の宿泊施設を会員として運営されている団体で、会員の相互扶助の精神に基づき、国内外でのセールス・宣伝事業、情報発信事業、イベントへの参加などを一体となって実施して誘客に努め、霧島温泉郷の発展と霧島市の観光行政に寄与する目的で設立されている。
 (市の活動)
 霧島温泉地区を訪れた観光客の受入のため、夏の観光宣伝、霧島国際音楽祭にあわせロビーコンサートの実施など霧島温泉旅館協会が行っている事業に対し入湯税の還元として補助金を支出している。
 (団体の活動)
 霧島温泉地区に誘客を行うために各種宣伝活動(九面太鼓演奏、チラシ配布等)、イベント活動(きりしま郷土芸能の夕べ等)を実施した。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 誘客対策事業(自主事業等)の実施回数	回	4	14	6	14
イ 誘客対策事業(チラシ等作成)の実施回数	回	0	1	0	1
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	5,178,046	7,954,000	4,491,954	8,033,500
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 霧島を観光してもらおう	事業の実施件数	件	7	15	6	15
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。
 また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 引き続き、霧島市観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会と連携しながら、他地区旅館協会等のモデルとなるような先進的な取組を行うことが必要である。

4. 事業費の推移

単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源	千円	1,333	1,273	1,273
事業費	千円	1,333	1,273	1,273	686

5. 令和3年度の実績及び成果

(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
・霧島国際音楽祭ニューイヤーコンサート会場ヘスタンド花(バラ)設置 ・きりしま郷土芸能の夕べ...4回/うち3回無観客(6回開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大により2回中止) ・「温泉半額本」への広告出稿 ・大塚製薬と「いい風呂の日キャンペーン」開催 ・インスタグラムによる情報発信	霧島国際音楽祭会場スタンド花を設置して会場に華を添え、来場者に対し霧島温泉郷のイメージアップを行ったほか、郷土芸能の夕べの開催や、ロビーコンサート(R3は旅行人山荘)の実施、県内で高い購読が期待される雑誌へ広告出稿することで、霧島温泉郷の宣伝及びイメージアップを行った。

事務事業 番号	02161	事務 事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	本市の観光の中心地である牧園丸尾地区の活性化に必要不可欠である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充				
		維 持			レ	
		縮 小				
		休廃止（統合含む）				
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	引き続き、霧島市観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会と連携しながら、他地区旅館協会等のモデルとなるような先進的な取組を行うことが必要である。					
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	市とも情報共有を密にしながら、より丸尾地区の活性化とイメージアップに努め、誘客に繋げる。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02162	事務事業名	霧島神宮温泉郷旅館協会運営支援事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			担当課長	寶徳 太
基本事業名	002	観光素材の創出と活用			グループ	観光振興グループ
					内線番号	2611
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 霧島市補助金交付規則	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島神宮温泉郷旅館協会の運営費補助として補助金を交付している。
 (市の活動)霧島神宮温泉郷旅館協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。
 (各旅館協会の活動)霧島神宮温泉郷地区を訪れた観光客の受入れのための事業を行う。(パンフレット作成、入浴券等) 霧島神宮温泉郷旅館協会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。霧島神宮周辺の宿泊施設を会員として運営されている団体である。
 (団体の活動)
 霧島神宮温泉地区への誘客を行うため、情報発信やセールス、地域美化活動などを実施して誘客促進とイメージアップに努めている。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 誘客対策事業(自主事業等)の実施回数	回	3	10	4	10	10
イ 誘客対策事業(チラシ等作成)の実施回数	回	1	2	0	2	2
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客	観光客数	人	5,178,046	7,954,000	4,491,954	8,033,500	8,113,835
イ							
ウ							

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 霧島を観光してもらう	事業の実施件数	件	4	14	4	14	14
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

霧島神宮温泉郷を盛り上げるという気概を各施設が強く持つことが何より重要である。

4. 事業費の推移

事業費	単位	2年度	3年度		4年度	5年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	371	417	417	147	205
事業費	千円	371	417	417	147	205

5. 令和 3年度の実績及び成果

(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

- ・地域交流誌「みちくさ」広告出稿
- ・ノベルティ作成(オリジナルスーブマグ)
- ・BIKE&STAY霧島神宮温泉(霧島神宮温泉郷の宿泊者に4時間レンタサイクル無料サービス)
- ・TREK&STAY霧島神宮温泉(霧島神宮温泉郷の宿泊者にトレッキングガイド料2,000円割引クーポン発行)

(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

九州内で配布される「みちくさ」への広告出稿を行い、温泉郷の情報発信を行った。また、オリジナルスーブマグを製作して加盟施設で宿泊客へ配布するとともに、宿泊者への特典として、レンタサイクルの4時間無料サービスの提供やトレッキングガイド料の割引クーポンの発行など、誘客促進を図った。

事務事業 番号	02162	事務 事業名	霧島神宮温泉郷旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本市で最も訪問者数が多い霧島神宮周辺において活動することは非常に重要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	今後も多くの来訪者が見込まれる「霧島神宮」の周辺という強みを活かし、霧島神宮温泉郷を盛り上げるという気概を各施設が強く持つことが何より重要である。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	霧島神宮周辺という地の利を活かし、相乗効果を得られるような宣伝事業を実施していく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02164	事務事業名	日当山観光案内所管理運営事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			担当課長	寶徳 太
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致			グループ	観光振興グループ
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 04 観光費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成24年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
平成31年1月より日当山西郷どん村内において観光案内所を開設し、国分・隼人における観光案内業務の強化と市全体の情報発信を図り、地域活性化に繋げる。						
委託先：公益社団法人霧島市観光協会 スタッフの雇用及び育成・観光案内・情報発信・問い合わせ対応・特産品等PR・レンタサイクル受付 等						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 観光客数(宿泊+日帰り)	千人	5,178,046	7,954,000	4,491,954	8,033,500
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア 観光客	西郷どんの宿来訪者	人	22,544	35,000	21,209	35,000
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
ア 日当山西郷どん村で霧島市に関する情報を手にすることができる	案内した人数	人	15,950	16,000	12,223	16,000
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。						
また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
正確で迅速な情報収集と工夫した発信により、訪問者の満足度と利便性の向上に繋がった。物産館、レストランの運営事業者や霧島市シルバーガイドとの関係性をより深め、市も一体となって集客力を高めるための工夫について協力していく必要がある。		事業費	千円	0	0	0	0
		財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	10,000	10,000	10,100
		一般財源	千円	10,109	29	29	84
		事業費	千円	10,109	10,029	10,029	10,381

5. 令和 3年度の実績及び成果	
(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
実施内容：観光案内、館内案内、メディアへの情報提供、独自チラシの作成、開花情報更新、SNSでの情報発信、レンタサイクル受付 接客実績：12,223名	主に日当山西郷どん村を訪れる観光客や地元住民に対し、市内全域の観光案内のほか、アクセス案内、館内案内、レンタサイクルの貸出などを行って周遊促進と地域活性化に繋げた。また、問い合わせの多い季節の花の開花情報や自然関連情報、温泉施設の開館状況をこまめに情報収集し、分かりやすく掲示したり市観光協会のSNSで発信するなど、観光客の満足度向上とイメージアップに繋げた。

事務事業 番号	02164	事務 事業名	日当山観光案内所管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本市観光情報の正確な発信により、訪問者の満足度向上とイメージアップに繋がっている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	正確で迅速な情報収集と工夫した発信により、訪問者の満足度と利便性の向上に繋がった。物産館、レストランの運営事業者や霧島市シルバーガイドとの関係性をより深め、市も一体となって集客力を高めるための工夫について協力していく必要がある。				
(3) 令和 5年度の方向性 (具体的な取組)	引き続き、国分・隼人地区の情報発信拠点及び周遊観光拠点としてはもちろん、日当山地区の活性化の拠点としての取組を意欲的に行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02165	事務事業名	外国人観光客誘致促進事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	観光PR課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			担当課長	寶徳 太
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致			グループ	観光振興グループ
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 04 観光費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 期間限定複数年度(平成23年度	~)
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		根拠法令・条例等	特になし
			関連計画		霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
海外誘客と航空機利用促進を図るため、鹿児島県や鹿児島県観光連盟、市内観光関係団体、宿泊施設と連携し、外国人観光客の誘致促進活動を行う。						
【誘客事業】 アジアを中心とした現地セールス、旅行説明の実施						
【受入体制】 ツアー商品等造成のための旅行エージェント(旅行会社)との商談会による情報提供、現地視察案内、ツアー企画の協力支援						

活動指標 (事務事業の活動量)		単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
ア	海外誘致セールス回数	件	0	6	0	6
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)
外国人(定期航空路線就航地を主とする)	鹿児島空港国際線定期就航路線	路線	4	5	4	5
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)
霧島市の情報を知る	海外誘致セールス回数	件	0	6	0	6
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。						
また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
令和 3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
就航路線の運休により外国人観光客の誘致が難しい状況ではあるが、今後の新型コロナウイルスの状況を注視しながら、霧島市はもとより鹿児島県自体も海外での知名度が低いことも踏まえて、国や県、周辺自治体、観光関係施設など官民一体となった外国人観光客の誘致活動を積極的に進めます。個別のマーケティングニーズや情報をしっかりと把握するため、県観光課・県観光連盟等と積極的に情報交換を行っていく。	

4. 事業費の推移		単位	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 計画
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	837	1,290	9	1,196	1,196
	事業費	千円	837	1,290	9	1,196	1,196

5. 令和 3年度の実績及び成果	
(1) 令和 3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 3年度の実績 <左記の実績(取組)による成果を記載>
・県観光連盟主催のWeb会議で、各国や地域ごとに、主要観光業界の方とアフターコロナを見据え受入れ態勢の研修等を実施	令和 2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、海外セールスが実施できなかったため、アフターコロナを見据え各国の現状や、今後の受入れ態勢の研修会(Web会議)を行った。

事務事業 番号	02165	事務 事業名	外国人観光客誘致促進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光PR課

6. 振返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	外国人観光客の誘致は、国内観光客よりも消費単価が高く、また、市内観光関係者からの要望も多いことから、今後も継続して取り組むべき事業であると考えます。ただ、国や県・県観光連盟等と積極的に情報交換を行い、国別のマーケットニーズや情勢をしっかりと把握していくことが必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和4年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	就航路線の運休により外国人観光客の誘致が難しい状況ではあるが、今後の新型コロナウイルスの状況を注視しながら、霧島市はもとより鹿児島県自体も海外での知名度が低いことも踏まえて、国や県、周辺自治体、観光関係施設など官民一体となった外国人観光客の誘致活動を積極的に行う。まずは、国別のマーケットニーズや情勢をしっかりと把握するため、県観光課・県観光連盟等と積極的に情報交換を行っていく。				
(3) 令和5年度の方向性 (具体的な取組)	海外マーケティング調査・分析に基づく戦略を基本に、現在、定期路線が就航している国以外にも積極的にセールスを展開し、また他県を訪れた外国人を本市に引き込む施策にも取り組んでいく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
	維持		
	縮小		
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

